

授業科目	精神疾患とその治療				単位	4		
履修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21306J		
開講年次	3年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2			
担当教員	三木 浩司							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】 教育に含まれる内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神疾患概論(代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。)</li> <li>2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化</li> <li>3. 医療機関との連携</li> </ol> <p>授業の概要 本講義では精神科医としての実務経験を基に以下の内容を享受する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.精神疾患総論として、精神疾患とその治療では認知症などの器質性疾患、依存症、うつ病などの内因性疾患といった代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解させる。具体的には、精神疾患の歴史と現状、精神疾患の生物学的基盤、こころの理解、精神障害の概念、精神疾患の成因と分類、代表的な精神科疾患、精神症状と状態像、診断の手順と方法、身体的検査と心理的検査を理解させる。</li> <li>2.精神科疾患の治療(薬物療法、身体両方、精神療法、精神科リハビリテーション、環境・社会療法)および精神科医療機関の治療構造、専門病院について理解させる。</li> </ol>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神障害に起こりやすい症状(精神症状)とそれを表現する術語を理解し、内容を説明できる。</li> <li>2. 精神障害の各々について理解し、その内容を説明できる。</li> <li>3. 精神障害の治療、社会復帰および社会資源の活用について理解し、その内容を説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	10	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30		5		5		40	
知識・理解 (DP1-2)	50		5		5		60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学生が到達すべき行動目標1. 2. 3. のいずれの項目も十分に達成できている。				学生が到達すべき行動目標1. 2. 3. のいずれの項目も充分とは言えないが最低限のレベルで達成できている。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	精神医学、精神医療の歴史について解説する。精神医学の概念について説明する。	講義	復習:配布した資料を確認しておく	30
2	脳と神経の解剖・生理 精神疾患の理解基礎となる脳の構造や働きを説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
3	診断法 診断の手順と方法について説明する。精神症状と状態像について説明する。心理検査、身体的検査について説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
4	代表的な精神障害:器質性精神障害 1 ～器質性精神障害の主な症状について解説し、認知症性疾患、脳炎、脳腫瘍、外傷性脳障害について説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
5	代表的な精神障害:器質性精神障害 2 ～症状精神病、てんかんについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
6	代表的な精神障害: 精神作用物質使用による精神および行動の障害について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
7	代表的な精神障害:統合失調症 1 ～統合失調症の症状、病型、診断、病因などについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
8	代表的な精神障害:統合失調症 2 ～統合失調症の治療、経過、予後、社会復帰などを解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
9	代表的な精神障害:気分障害 1 ～気分障害の分類と疫学、臨床症状、発病因子などを解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
10	代表的な精神障害:気分障害 2 ～気分障害の治療、予後などについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
11	代表的な精神障害1 神経性障害、ストレス関連障害、心身症について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
12	代表的な精神障害2 神経性障害、ストレス関連障害、心身症について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
13	代表的な精神障害:生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群～1 器質性睡眠障害、産褥期精神障害などについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30

14	代表的な精神障害:生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群～2 器質性睡眠障害、産褥期精神障害などについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
15	代表的な精神障害: パーソナリティおよび行動の障害について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
16	代表的な精神障害:心理発達の障害～1 特異的発達障害、広汎性発達障害について解説し治療教育と福祉についても説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
17	代表的な精神障害:心理発達の障害～2 特異的発達障害、広汎性発達障害について解説し治療教育と福祉についても説明する	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
18	代表的な精神障害: 小児期、青年期の精神障害のそれぞれについて解説し、治療法や教育的支援についても説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
19	代表的な精神障害:てんかん ～てんかんの分類、原因、診断、治療について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
20	身体医療と精神医学1:コンサルテーションリエゾン精神医学、サイコオンコロジー等について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
21	身体医療と精神医学2:コンサルテーションリエゾン精神医学、サイコオンコロジー等について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
22	治療法 1:身体療法 ～薬物療法、電気ショック療法等身体療法について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
23	治療法 2:精神療法 ～支持的精神療法、各種の特殊な精神療法について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
24	治療法 3:環境・社会療法、精神科リハビリテーションのそれぞれについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
25	司法精神医学: 司法精神医学について解説する。精神障害者と刑法、医療観察法と医療との関係についても説明する。 ”	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
26	病院精神医療および地域精神医療(1) ～わが国の精神科病院の歴史と現況、急性期精神科医療などについて説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
27	病院精神医療および地域精神医療(2) ～精神科救急医療の実際について解説し、その問題点についても説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
28	病院精神医療および地域精神医療(3) ～わが国における地域精神医療の実際について解説する。関係機関の役割等について説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
29	精神医学の現状とその将来	講義	予習・復習:配布した資料を確認	30

			認しておく	
30	質問と補習： 1～29 回の講義を通して疑問点について質問を受け る。また、必要な補習を行なう。	講義	予習・復習：配布した資料を確 認しておく	30
理解に必要な予備 知識や技能	精神医学は、医学的基礎(生理学、解剖学その他)が出来ていると理解しやすいので、医学一般科目の復習 をして授業に臨むことが望ましい。			
テキスト	「精神疾患とその治療」中央法規出版			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	講義中に適宜資料を提示する。必要に応じてパワーポイント資料を配布する。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	講義に関連した参考になる書籍を図書館などで探して読むと、さらに理解が深まる。			
達成度評価に関す るコメント	授業貢献度・授業課題レポート、定期試験をもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示している。 授業課題レポートに関しては、授業の中で指示する。			